

附属学校を置く各国立大学長
各都道府県教育委員会
各市町村教育委員会 殿
各都道府県知事
国立久里浜養護学校長

文部科学省初等中等教育局長
矢野重典

小学校児童指導要録，中学校生徒指導要録，高等学校生徒指導要録，中等教育学校生徒指導要録並びに盲学校，聾学校及び養護学校の小学部児童指導要録，中学部生徒指導要録及び高等部生徒指導要録の改善等について（通知）（抄）

小学校，中学校，高等学校並びに盲学校，聾学校及び養護学校小学部・中学部・高等部の指導要録については，様式等を決定する各学校の設置者等の参考に供するよう，従来から，小学校，中学校，高等学校並びに盲学校，聾学校及び養護学校小学部・中学部・高等部の学習指導要領の改訂に合わせて様式の参考案を作成し，改善に努めてきました。

このたび，教育課程審議会答申「児童生徒の学習と教育課程の実施状況の評価の在り方について」（平成12年12月4日）（以下「答申」という。）を受け，各学校における指導要録の作成の参考となるよう，小学校児童指導要録については別紙第1のとおり，中学校生徒指導要録については別紙第2のとおり，高等学校生徒指導要録については別紙第3のとおり，盲学校，聾学校及び養護学校の小学部児童指導要録，中学部生徒指導要録及び高等部生徒指導要録については別紙第4のとおり，それぞれの指導要録に記載する事項等を取りまとめました。

また，中等教育学校の指導要録に記載する事項等については，前期課程は別紙第2に，後期課程は別紙第3にそれぞれ準じることとしました。

ついては，下記並びに別紙第1，別紙第2，別紙第3及び別紙第4を十分御了知の上，指導要録の様式等を適切に定めるとともに，各学校において適切に指導要録が作成されるようお願いいたします。

さらに，幼稚園（盲学校，聾学校及び養護学校の幼稚部を含む。）と小学校（盲学校，聾学校及び養護学校の小学部を含む。）との緊密な連携を図る観点から，幼稚園並びに盲学校，聾学校及び養護学校の幼稚部においてもこの通知の趣旨の理解が図られるようお願いいたします。

「答申」にもあるように，学力については，知識の量のみでとらえるのではなく，学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容を確実に身に付けることはもとより，それにとどまることなく，自ら学び自ら考える力などの「生きる力」がはぐくまれているかどうかによってとらえる必要があります。これからの児童生徒の学習状況の評価に当たっては，このことを適切に評価できるよう，工夫することが必要となります。

また，指導要録は，1年間の学習指導の過程や成果などを要約して記録するものであり，その記録を確かなものにするためには，そこに至るまでの継続的な評価の充実が重要です。このため，これからの評価においては，各学校において，観点別学習状況の評価を基本とした現行の評価方法を発展させ，学習指導要領に示す目標に照らしてその実現状況を見る評価が一層重視されるとともに，児童生徒一人一人のよい点や可能性，進歩の状況などを評価するため，個人内評価が工夫されるようお願いいたします。それとともに，各学校において，指導と評価の一体化，評価方法の工夫改善，学校全体としての評価の取組が進められるとともに，学習の評価の内容について，日常的に児童生徒や保護者に十分説明し，共通理解が図られるようお願いいたします。

さらに，国立教育政策研究所教育課程研究センター等において研究開発される評価規準等も参

考にしながら，都道府県や市町村の教育センター・教育研究所等や，教員養成大学・学部等の教育研究機関においても，評価規準や評価方法等の研究開発を行い，各学校における評価の客観性・信頼性を高めるようお願いいたします。

また，附属学校を置く各国立大学長，各都道府県教育委員会及び各市町村教育委員会におかれては，指導要録の改善の趣旨を踏まえ，高等学校等の入学者選抜のための資料である調査書の記載内容及び取扱い等について検討を進めるようお願いいたします。

なお，各都道府県知事におかれては，所轄の学校及び学校法人等に対し，このことを十分周知されるようお願いいたします。

平成3年3月20日付け文初小第124号「小学校児童指導要録，中学校生徒指導要録並びに盲学校，聾学校及び養護学校の小学部児童指導要録及び中学部生徒指導要録の改訂について」の通知は平成14年3月31日をもって，平成5年7月29日付け文初高第162号「高等学校生徒指導要録並びに盲学校，聾学校及び養護学校の高等部生徒指導要録の様式例等の改訂について」の通知は平成15年3月31日をもって，それぞれ廃止します。

記

この通知は，小学校学習指導要領（平成10年文部省告示第175号），中学校学習指導要領（平成10年文部省告示第176号），高等学校学習指導要領（平成11年文部省告示第58号），盲学校，聾学校及び養護学校小学部・中学部学習指導要領（平成11年文部省告示第61号）並びに盲学校，聾学校及び養護学校高等部学習指導要領（平成11年文部省告示第62号）の下での指導要録に記載する事項等を示すものである。

1 各学校に共通する事項について

指導要録は，児童生徒の学籍並びに指導の過程及び結果の要約を記録し，その後の指導及び外部に対する証明等に役立たせるための原簿となるものであるが，今回の改善においては，中央教育審議会答申「今後の地方教育行政の在り方について」（平成10年9月21日）の趣旨等を踏まえ，各設置者等において，地域に根ざした主体的かつ積極的な教育の展開の観点から様式等が定められるよう，「指導要録に記載する事項等」を示し，簡素化を図るとともに，「参考様式」を添付する。

2 小・中学校の指導要録について

（1）各教科の評定について，学習指導要領に示す基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るなどの観点から，学習指導要領に示す目標に照らしてその実現状況を評価することに改める。

（2）「総合的な学習の時間」について，各学校で評価の観点を定めて，評価を文章記述する欄を新たに設ける。

（3）「生きる力」の育成を目指し，豊かな人間性を育てることが重要であることを踏まえ，「行動の記録」の項目を見直す。

（4）「生きる力」は全人的な力であることを踏まえ，児童生徒の成長の状況を総合的にとらえる工夫ができるようにする趣旨から，所見欄等を統合する。

3 高等学校の指導要録について

各教科・科目の評定については，「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の四つの観点による評価を十分踏まえるとともに，「総合的な学習の時間」について，評価を文章記述する欄を新たに設ける。

4 盲学校，聾学校及び養護学校の指導要録について

児童生徒の障害の状態等に応じた指導の目標の実現状況の評価や個人内評価を重視することとし，「自立活動」の欄の設定，個別の指導計画を踏まえた評価の推進，教育課程や学習指導の状況及び障害の重度・重複化や多様化等に応じた適切な記録の充実などの改善を図る。

小学校児童指導要録に記載する事項等

学籍に関する記録

原則として学齢簿の記載に基づき、学年当初及び異動の生じたときに記入する。

- 1 児童の氏名、性別、生年月日及び現住所
- 2 保護者の氏名及び現住所
- 3 入学前の経歴

小学校に入学するまでの教育又は保育関係の略歴を記入する。なお、外国において受けた教育の実情なども記入する。
- 4 入学・編入学等
 - (1) 入学

児童が第 1 学年に入学した年月日を記入する。
 - (2) 編入学等

第 1 学年の中途又は第 2 学年以上の学年に、外国にある学校などから編入学した場合、又は就学義務の猶予・免除の事由の消滅により就学義務が発生した場合について、その年月日、学年及び事由等を記入する。
- 5 転入学

他の小学校（盲学校、聾学校及び養護学校の小学部を含む。）から転校してきた児童について、転入学年月日、転入学年、前に在学していた学校名、所在地及び転入学の事由等を記入する。
- 6 転学・退学等

他の小学校（盲学校、聾学校及び養護学校の小学部を含む。）に転学する場合には、そのために学校を去った年月日、転学先の学校が受け入れた年月日の前日、転学先の学校名、所在地、転入学年及びその事由等を記入する。

外国にある学校などに入るために退学する場合又は学齢（満 15 歳に達した日の属する学年の終わり）を超過している児童の退学の場合には、校長が退学を認めた年月日及びその事由等を記入する。

なお、就学義務の猶予・免除をする場合又は児童の居所が 1 年以上不明である場合は、在学しない者として取り扱い、在学しない者と認めた年月日及びその事由等を記入する。
- 7 卒業

校長が卒業を認定した年月日を記入する。
- 8 進学先

進学先の中学校（中等教育学校の前期課程並びに盲学校、聾学校及び養護学校の中学部を含む。）名及び所在地を記入する。
- 9 学校名及び所在地
- 10 校長氏名印、学級担任者氏名印

各年度に、校長の氏名、学級担任者の氏名を記入し、それぞれ押印する。（同一年度内に校長又は学級担任者が代わった場合には、その都度後任者の氏名を併記する。）

指導に関する記録

〔各教科の学習の記録〕

観点別学習状況及び評定について記入する。

観点別学習状況

小学校学習指導要領（平成 10 年文部省告示第 175 号）に示す各教科の目標に照らして、そ

の実現状況を観点ごとに評価し，A，B，Cの記号により記入する。この場合，「十分満足できると判断されるもの」をA，「おおむね満足できると判断されるもの」をB，「努力を要すると判断されるもの」をCとする。

また，特に必要があれば，観点を追加して記入する。

各教科の評価の観点及びその趣旨並びにそれらを学年別に示したものは別添1 - 1のとおりである。各学校においては，評価が効果的に行われるようにするため，これらを参考として，評価規準の工夫・改善を図ることが望まれる。

評定

第3学年以上の各教科の学習の状況について，小学校学習指導要領に示す各教科の目標に照らして，その実現状況を総括的に評価し，記入する。

各教科の評定は，3段階で表し，3段階の表示は，3，2，1とする。その表示は，小学校学習指導要領に示す目標に照らして，「十分満足できると判断されるもの」を3，「おおむね満足できると判断されるもの」を2，「努力を要すると判断されるもの」を1とする。

評定に当たっては，評定は各教科の学習の状況を総括的に評価するものであり，「観点別学習状況」において掲げられた観点は，分析的な評価を行うものとして，各教科の評定を行う場合において基本的な要素となるものであることに十分留意することが望まれる。その際，観点別学習状況の評価を，どのように評定に総括するかの具体的な方法等については，各学校において工夫することが望まれる。

〔総合的な学習の時間の記録〕

総合的な学習の時間については，この時間に行った学習活動及び指導の目標や内容に基づいて定めた評価の観点を記載した上で，それらの観点のうち，児童の学習状況に顕著な事項がある場合などにその特徴を記入するなど，児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。

評価の観点については，小学校学習指導要領に示された総合的な学習の時間の二つのねらい（自ら課題を見付け，自ら学び，自ら考え，主体的に判断し，よりよく問題を解決する資質や能力を育てること，学び方やものの考え方を身に付け，問題の解決や探究活動に主体的，創造的に取り組む態度を育て，自己の生き方を考えることができるようにすること）などを踏まえ，各学校において具体的に定めた目標，内容に基づいて定める。（例えば，上記の二つのねらいを踏まえ，「課題設定の能力」「問題解決の能力」「学び方，ものの考え方」「学習への主体的，創造的な態度」「自己の生き方」などと定めたり，また，教科との関連を明確にして，「学習活動への関心・意欲・態度」「総合的な思考・判断」「学習活動にかかわる技能・表現」「知識を応用し総合する能力」などと定めたり，さらに，各学校の定める目標・内容に基づき，「コミュニケーション能力」「情報活用能力」などと定めたりすることが考えられる。）

〔特別活動の記録〕

特別活動における児童の活動について，各内容ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には，○印を記入する。

各内容及びその趣旨は，別添1 - 2のとおりである。

〔行動の記録〕

各教科，道徳，特別活動，総合的な学習の時間，その他学校生活全体にわたって認められる児童の行動について，各項目ごとにその学年別の趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合には，○印を記入する。また，特に必要があれば，項目を追加して記入する。

各項目及びその学年別の趣旨は，別添1 - 3のとおりである。

〔総合所見及び指導上参考となる諸事項〕

児童の成長の状況を総合的にとらえるため，以下のような事項などを記入する。

各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見

特別活動に関する事実及び所見

行動に関する所見

児童の特徴・特技，学校内外における奉仕活動，表彰を受けた行為や活動，知能，学力等について標準化された検査の結果など指導上参考となる諸事項

児童の成長の状況にかかわる総合的な所見

記入に際しては，児童の優れている点や長所，進歩の状況などを取り上げることが基本となるよう留意することが望まれる。ただし，児童の努力を要する点などについても，その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記入する。

また，学級・学年など集団の中での相対的な位置付けに関する情報も，必要に応じ，記入する。

なお，通級による指導を受けている児童については，通級による指導を受ける学校名，通級による指導の授業時数，指導期間，指導の内容や結果等を記入する。

〔出欠の記録〕

以下の事項を記入する。

1 授業日数

児童の属する学年について授業を実施した年間の総日数を記入する。この授業日数は，原則として，同一学年のすべての児童につき同日数である。ただし，転学又は退学等をした児童については，転学のため学校を去った日又は退学等をした日までの授業日数を記入し，転入学又は編入学等をした児童については，転入学又は編入学等をした日以後の授業日数を記入する。

2 出席停止・忌引等の日数

以下のような日数を含めて記入する。

- (1) 学校教育法第26条及び学校保健法第12条による出席停止日数並びに感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第19条，第20条，第26条及び第46条による入院の場合の日数
- (2) 学校保健法第13条により，臨時に学年の中の一部の休業を行った場合の日数
- (3) 忌引日数
- (4) 非常変災等児童若しくは保護者の責任に帰すことのできない事由で欠席した場合などで，校長が出席しなくてもよいと認めた日数
- (5) その他教育上特に必要な場合で，校長が出席しなくてもよいと認めた日数

3 出席しなければならない日数

授業日数から出席停止・忌引等の日数を差し引いた日数を記入する。

4 欠席日数

出席しなければならない日数のうち病気又はその他の事故で児童が欠席した日数を記入する。

5 出席日数

出席しなければならない日数から欠席日数を差し引いた日数を記入する。

なお，学校の教育活動の一環として児童が運動や文化などにかかわる行事等に参加した場合には，出席扱いとすることができる。

また，不登校の児童が適応指導教室等学校外の施設において相談・指導を受け，そのことが当該児童の学校復帰のために適切であると校長が認める場合には，出席扱いとすることができる。この場合には，出席日数の内数として出席扱いとした日数及び児童が通所又は入所した学校外の施設名を記入する。

6 その他

出席停止・忌引等の日数に関する特記事項，欠席理由の主なもの，遅刻，早退等の状況，転入学した児童についての前に在学していた学校における出欠の概要等を記入する。

各教科・各学年の評価の観点及びその趣旨

国語

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
国語への関心・意欲・態度	国語に対する関心をもち、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。
話す・聞く能力	自分の考えを豊かにして、相手や目的に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
書く能力	自分の考えを豊かにして、相手や目的に応じ、筋道を立てて文章に書く。
読む能力	目的に応じて読み取ったり読書に親しんだりする。
言語についての知識・理解・技能	表現及び理解の能力の基礎となる発音、文字、語句、文・文章等について理解し、習熟している。書写では、文字を正しく整えて書く。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

学 年 観 点	第 1 学年及び第 2 学年	第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年
国語への関心・意欲・態度	国語に対する関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。	国語に対する関心をもち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。	国語に対する関心をもち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする。
話す・聞く能力	相手に応じ、経験した事などについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事な事を落とさないで聞いたりする。	相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。	目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする。
書く能力	経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。	相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。	目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章を書く。
読む能力	書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読む。	目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。	目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。
言語についての知識・理解・技能	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組立て方などを理解して文字を正しく書く。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について正確に理解している。書写では、文字の形、大きさ、配列、毛筆では、点画の筆使い、文字の組立て方、字配りなどを理解して文字を正しく書く。

社会

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
社会的事象への関心・意欲・態度	社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、社会の一員として自覚をもって責任を果たそうとする。
社会的な思考・判断	社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、社会的事象の意味を考え、適切に判断する。
観察・資料活用の技能・表現	社会的事象を的確に観察、調査したり、各種の資料を効果的に活用したりするとともに、調べたことを表現する。
社会的事象についての知識・理解	社会的事象の様子や働き、特色及び相互の関連を具体的に理解している。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

観 点 \ 学 年	第3学年及び第4学年	第5学年	第6学年
社会的事象への関心・意欲・態度	地域における社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、地域社会に対する誇りと愛情をもとうとする。	我が国の産業と国土の様子に関する社会的事象に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、我が国の産業の発展と環境の保全の重要性について関心を深めるとともに、国土に対する愛情をもとうとする。	我が国の歴史と政治及び国際社会における我が国の役割に関心をもち、それを意欲的に調べることを通して、我が国の歴史や伝統を大切にし国を愛する心情をもつとともに、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることの自覚をもとうとする。
社会的な思考・判断	地域における社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考え、適切に判断する。	我が国の産業と国土の様子に関する社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、社会的事象の意味を考え、適切に判断する。	我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象から学習の問題を見いだして追究・解決し、社会的事象の意味をより広い視野から考え、適切に判断する。
観察・資料活用の技能・表現	地域における社会的事象を的確に観察、調査したり、地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を工夫して表現する。	我が国の産業と国土の様子に関する社会的事象を的確に調査したり、地図、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する。	我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を的確に調査したり、地図や年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりするとともに、調べた過程や結果を目的に応じた方法で表現する。
社会的事象についての知識・理解	地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動、地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを理解している。	我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連及び我が国の国土の様子を理解している。	国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解している。

算 数

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
算数への関心・意欲・態度	数理的な事象に関心をもつとともに、活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、日常の事象の考察に進んで生かそうとする。
数学的な考え方	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、見通しをもち筋道を立てて考える。
数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての表現や処理にかかわる技能を身に付けている。
数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての豊かな感覚をもち、それらの意味、性質などについて理解している。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

観点 \ 学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
算数への関心・意欲・態度	数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとする。	数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとする。とともに、知識や技能などを進んで用いようとする。	知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生かそうとする。	知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活に生かそうとする。	数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気付き、進んで活用しようとする。	数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることのよさに気付き、進んで活用しようとする。
数学的な考え方	算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。	算数的活動を通して、数理的な処理に親しむ。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、論理的に考えたり、発展的、統合的に考えたりする。	算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、論理的に考えたり、発展的、統合的に考えたりする。
数量や図形についての表現・処理	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、もの大きさを比較したり、身近な立体を観察したり構成したりする。	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、もの大きさを測定したり、もの形を観察したり構成したりする。	整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、もの大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料を表やグラフに表したりする。	整数や小数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形を作図したり、数量の関係などを表したり調べたりする。	小数や分数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形の性質を調べたり、数量の関係などを表したり調べたりする。	分数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、立体図形の体積を求めたり、立体図形を構成したり、数量の関係などを表したり調べたりする。
数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量や図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねている。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味及び資料の表し方を理解している。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の意味と表し方、面積の意味、基本的な図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の計算の意味、面積の求め方、基本的な図形の意味や性質及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、分数の計算の意味、体積の求め方、基本的な立体図形の意味及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
自然事象への関心・意欲・態度	自然に親しみ、意欲をもって自然の事物・現象を調べる活動を行い、自然を愛するとともに生活に生かそうとする。
科学的な思考	自然事象から問題を見だし、見通しをもって事象を比較したり、関係付けたり、条件に着目したり、多面的に追究したりして調べることによって得られた結果を考察して、自然事象を科学的にとらえ、問題を解決する。
観察・実験の技能・表現	自然事象を観察し、実験を計画、実施し、器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、それらの過程や結果を的確に表現する。
自然事象についての知識・理解	自然事象の性質や規則性、相互の関係などについて理解し、それらについての考えをもっている。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

観点 \ 学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
自然事象への関心・意欲・態度	自然事象に興味・関心をもって追究し、生物を愛護するとともに、見いだした特性を生活に生かそうとする。	自然事象に興味・関心をもって追究し、生物を愛護するとともに、見いだした特性を生活に生かそうとする。	自然事象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。	自然事象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。
科学的な思考	自然事象を比較しながら問題を見だし、差異点や共通点をとらえ、問題を解決する。	自然事象の変化とその要因とのかかわりに問題を見だし、変化と関係する要因をとらえ、問題を解決する。	自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的变化をとらえ、問題を解決する。	自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、多面的に追究し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決する。
観察・実験の技能・表現	簡単な器具や材料を見付けたり、使ったり、作ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を分かりやすく表現する。	簡単な器具や材料を見付けたり、使ったり、作ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を分かりやすく表現する。	問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。	問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。
自然事象についての知識・理解	生物の成長の様子や体のつくりにはきまりがあることや、光、電気及び磁石にはきまつた性質があること、太陽と地面の様子には関係があることなどを理解している。	動物の活動や植物の成長の仕方は環境条件と関係があること、空気、水、電気などはきまつた性質や働きがあること、月や星の位置や水が変化していることなどを理解している。	生命は子孫に受け継がれて連続していることや、物の状態は与える条件によって規則的に変化すること、気象現象や流水の働きには規則性があることなどを理解している。	生物は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかがわって生きていることや、物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること、土地のつくりと変化にはきまりがあることなどを理解している。

生活

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
生活への関心・意欲・態度	身近な環境や自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習や生活をしようとする。
活動や体験についての思考・表現	具体的な活動や体験について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。
身近な環境や自分についての気付き	具体的な活動や体験をしながら、自分と身近な人、社会、自然とのかかわり及び自分自身のよさなどに気付いている。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

観点 \ 学年	第1学年及び第2学年
生活への関心・意欲・態度	身近な人、社会、自然及び自分自身に関心をもち、進んでそれらとかかわり、楽しく学習したり、意欲的に遊びや手伝いなどをしたりしようとする。
活動や体験についての思考・表現	調べたり、育てたり、作ったりするなどの活動や学校や家庭などにおける自分の生活について、自分なりに考えたり、工夫したりして、それをすなおに表現する。
身近な環境や自分についての気付き	具体的な活動や体験をしながら、学校や家庭及び地域と生活、公共物の利用、身近な自然や動植物、自分の成長などの様子に気付いている。

音 楽

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
音楽への関心・意欲・態度	音楽に親しみ、音楽を進んで表現し、鑑賞しようとする。
音楽的な感受や表現の工夫	音楽のよさや美しさを感じ取り、それらを音楽活動の中で創意工夫し、生かしている。
表現の技能	音楽を表現するための基礎的な技能を身に付けている。
鑑賞の能力	音楽を楽しく聴取、鑑賞し、そのよさや美しさを味わう。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

学年 観点	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
音楽への関心・意欲・態度	音楽に対する興味・関心をもち、進んで音楽活動を楽しもうとする。	進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。
音楽的な感受や表現の工夫	楽曲の気分や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の工夫をしている。	曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲全体の構成を理解したり、自由な発想を生かしたりして、表現や鑑賞の仕方を工夫している。
表現の技能	範唱や範奏を聴いて演奏したり、リズム譜に親しんだりするとともに、自分の歌声や発音に気を付けて歌ったり、楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、豊かな響きのある自然で無理のない声で歌ったり、音色の特徴を生かして楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。
鑑賞の能力	音楽を特徴付けている要素に気を付けながら、楽曲の気分を感じ取って聴く。	音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。	楽曲の構成に気を付けながら、曲想を全体的に味わって聴く。

図画工作

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
造形への関心・意欲・態度	自分の思いをもち、進んで表現や鑑賞の創造活動を楽しみ、つくりだす喜びを味わおうとする。
発想や構想の能力	感じたことや考えたことなどをもとに、想像力を働かせながら自分らしい発想をし、よさや美しさなどを考え、豊かな表現を構想する。
創造的な技能	表したい思いや意図に応じて創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりしながら表し方を工夫する。
鑑賞の能力	造形作品などに関心や親しみをもち、そのよさや美しさなどを感じ取ったり、味わったりする。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

学年 観点	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
造形への関心・意欲・態度	表したいこと、つくりたいものを自分の表し方でつくりだすことやつくったものなどを見ることに関心をもち、進んで造形表現活動を楽しもうとする。	自分の思いを表す体験を深めることに関心をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。	自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取るなど造形表現活動を積極的に楽しみ、その喜びを味わおうとする。
発想や構想の能力	感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見付け、その思いをふくらませながら表したり、つくり方を考えたりする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。	見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしたりする。
創造的な技能	かいたり、つくったりしながら、思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。	手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。	表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。
鑑賞の能力	かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さなどに気付いたりして、楽しく見る。	自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見る。	造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。

家庭

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
家庭生活への関心・意欲・態度	衣食住や家族の生活について関心をもち、家庭生活をよりよくするために進んで実践しようとする。
生活を創意工夫する能力	家庭生活について見直し、身近な生活の課題を見付け、その解決を目指して考え自分なりに工夫する。
生活の技能	衣食住や家族の生活に必要な基礎的な技能を身に付けている。
家庭生活についての知識・理解	衣食住や家族の生活に関する基礎的な事項について理解している。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

観点 \ 学年	第5学年及び第6学年
家庭生活への関心・意欲・態度	衣食住や家族の生活について関心をもち、家族の一員として、家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。
生活を創意工夫する能力	衣食住や家族の生活について見直し、課題を見付け、その解決を目指して、家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりする。
生活の技能	生活的な自立の基礎として必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的な技能を身に付けている。
家庭生活についての知識・理解	家庭生活を支えているものや大切さを理解し、衣食住や家族の生活に関する基礎的な知識を身に付けている。

体 育

(1) 評価の観点及びその趣旨

観 点	趣 旨
運動や健康・安全への関心・意欲・態度	進んで楽しく運動をしようとする。また、身近な生活における健康・安全に関心を持ち、進んで学習に取り組もうとする。
運動や健康・安全についての思考・判断	運動の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫している。また、身近な生活における健康や安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。
運動の技能	運動の楽しさや喜びを味わうために必要な動きや技能を身に付けている。
健康・安全についての知識・理解	身近な生活における健康・安全に関して、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

観 点 \ 学年	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
運動や健康・安全への関心・意欲・態度	だれとでも仲よく、健康・安全に留意して、進んで楽しく運動をしようとする。	だれとでも仲よく、健康・安全に留意して、進んで楽しく運動をしようとする。	進んで楽しく運動をしようとする。また、約束やきまりを守り、互いに協力し、健康・安全に留意して運動をしようとする。さらに、毎日の生活と健康とのかかわりについて関心を持ち、自ら健康的な生活を送るため、進んで学習に取り組もうとする。	進んで楽しく運動をしようとする。また、約束やきまりを守り、互いに協力し、健康・安全に留意して運動をしようとする。さらに、体の発育・発達に関心を持ち、自ら健康的な生活を送るため、進んで学習に取り組もうとする。	進んで運動の楽しさや喜びを求めるとともに、協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意して運動をしようとする。また、心の健康やけがの防止について関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。	進んで運動の楽しさや喜びを求めるとともに、協力、公正などの態度を身に付け、健康・安全に留意して運動をしようとする。また、病気の予防について関心を持ち、自ら健康的な生活を実践するため、進んで学習に取り組もうとする。
運動や健康・安全についての思考・判断	基本の運動やゲームの仕方を考え、工夫している。	基本の運動やゲームの仕方を考え、工夫している。	運動の特性に応じた課題を持ち、活動の仕方考え、工夫している。また、毎日の生活と健康とのかかわりについて、課題の解決を目指して考え、判断している。	運動の特性に応じた課題を持ち、活動の仕方考え、工夫している。また、体の発育・発達について、課題の解決を目指して考え、判断している。	運動の特性に応じた自己の課題の解決を目指して、活動の仕方考え、工夫している。また、心の健康やけがの防止について、課題の解決を目指して考え、判断している。	運動の特性に応じた自己の課題の解決を目指して、活動の仕方考え、工夫している。また、病気の予防について、課題の解決を目指して考え、判断している。
運動の技能	基本の運動やゲームを楽しく行うために必要な動きを身に付けている。	基本の運動やゲームを楽しく行うために必要な動きを身に付けている。	運動の特性に応じた技能を身に付けている。	運動の特性に応じた技能を身に付けている。	自己の能力に応じた課題を理解して、運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。	自己の能力に応じた課題を理解して、運動を行うとともに、運動の特性に応じた技能を身に付けている。
健康・安全についての知識・理解			毎日の生活と健康とのかかわりについて、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	体の発育・発達について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	心の健康及びけがの原因とその防止について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。	健康の保持増進に必要な生活行動及び病気の起こり方とその予防について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。

特別活動の評価の内容及びその趣旨

特別活動
評価の内容及びその趣旨

内 容	趣 旨
学 級 活 動	話合いや係の活動などを進んで行い、学級生活の向上やよりよい生活を目指し、諸問題の解決に努めている。
児 童 会 活 動	委員会の活動を進んで行ったり集会などに進んで参加したりして、学校生活の向上や他のためを考え、自己の役割を果たしている。
ク ラ ブ 活 動	自己の興味・関心を意欲的に追求し、他と協力して課題に向けて創意工夫して活動している。
学 校 行 事	全校や学年の一員としての自覚をもち、集団における自己の役割を考え、望ましい行動をしている。

行動の記録の評価項目及びその趣旨

行動の記録

評価項目及びその学年別の趣旨

項 目	学 年	趣 旨
基本的な生活習慣	第1学年及び第2学年	安全に気を付け、時間を守り、物を大切にし、気持ちのよいあいさつを行い、規則正しい生活をする。
	第3学年及び第4学年	安全に努め、物や時間を有効に使い、礼儀正しく節度のある生活をする。
	第5学年及び第6学年	自他の安全に努め、礼儀正しく行動し、節度を守り節制に心掛ける。
健康・体力の向上	第1学年及び第2学年	心身の健康に気を付け、進んで運動をし、元気に生活をする。
	第3学年及び第4学年	心身の健康に気を付け、運動をする習慣を身に付け、元気に生活をする。
	第5学年及び第6学年	心身の健康の保持増進と体力の向上に努め、元気に生活をする。
自主・自律	第1学年及び第2学年	よいと思うことは進んで行い、最後までがんばる。
	第3学年及び第4学年	自らの目標をもって進んで行い、最後までねばり強くやり通す。
	第5学年及び第6学年	夢や希望をもってより高い目標を立て、当面の課題に根気強く取り組み、努力する。
責任感	第1学年及び第2学年	自分でやらなければならないことは、しっかりと行う。
	第3学年及び第4学年	自分の言動に責任をもち、課せられた役割を誠意をもって行う。
	第5学年及び第6学年	自分の役割と責任を自覚し、信頼される行動をする。
創意工夫	第1学年及び第2学年	自分で進んで考え、工夫しながら取り組む。
	第3学年及び第4学年	自分でよく考え、課題意識をもって工夫し取り組む。
	第5学年及び第6学年	進んで新しい考えや方法を求め、工夫して生活をよりよくしようとする。
思いやり・協力	第1学年及び第2学年	身近にいる人々に温かい心で接し、親切にし、助け合う。
	第3学年及び第4学年	相手の気持ちや立場を理解して思いやり、仲よく助け合う。
	第5学年及び第6学年	思いやりと感謝の心をもち、異なる意見や立場を尊重し、力を合わせて集団生活の向上に努める。
生命尊重・自然愛護	第1学年及び第2学年	然に親しみ、生きているものに優しく接する。
	第3学年及び第4学年	生命や自然のすばらしさに感動し、自他の生命を大切にする。
	第5学年及び第6学年	自然を愛護し、自他の生命を大切にする。
勤労・奉仕	第1学年及び第2学年	手伝いや仕事を進んで行う。
	第3学年及び第4学年	働くことの大切さを知り、進んで働くようにする。
	第5学年及び第6学年	働くことの意義を理解し、人や社会の役に立つことを考え、進んで仕事や奉仕活動をする。
公正・公平	第1学年及び第2学年	自分の好き嫌いや利害にとらわれないで行動する。
	第3学年及び第4学年	相手の立場に立って公正・公平に行動する。
	第5学年及び第6学年	だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく、正義を大切にし、公正・公平に行動する。
公共心・公德心	第1学年及び第2学年	みんなが使うものを大切にし、約束やきまりを守って生活する。
	第3学年及び第4学年	約束や社会のきまりを守って公德を大切にし、人に迷惑をかけないように心掛け、のびのびと生活する。
	第5学年及び第6学年	規則を尊重し、公德を大切にするとともに、郷土や我が国の文化や伝統を大切にし、学校や人々の役に立つことを進んで行う。

小 学 校 児 童 指 導 要 録 (参 考 様 式)

様式1 (学籍に関する記録)

区分	学年	1	2	3	4	5	6
学 級							
整理番号							

学 籍 の 記 録					
児 童	ふりがな 氏 名		性 別		入学・編入学等 平成 年 月 日 第1学年入学 第 学年編入学
		平成 年 月 日生			
保 護 者	ふりがな 氏 名			転学・退学等	(平成 年 月 日) 平成 年 月 日
	現住所			卒 業	平成 年 月 日
現住所				転 入 学	平成 年 月 日 第 学年転入学
入学前の経歴				進 学 先	
学 校 名 及 び 所 在 地 (分校名・所在地等)					
区分	年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
	学年	1	2	3	
校 長 氏 名 印					
学 級 担 任 者 氏 名 印					
区分	年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	
	学年	4	5	6	
校 長 氏 名 印					
学 級 担 任 者 氏 名 印					

様式2 (指導に関する記録)

児童氏名	学 校 名	区分	学年	1	2	3	4	5	6
		学 級							
		整理番号							

各教科の学習の記録										総合的な学習の時間の記録									
教科	観点別学習状況						学年	学習活動		評 価									
	観 点	学 年	1	2	3	4		5	6	学 年	観 点	1	2	3	4	5	6		
国語	国語への関心・意欲・態度						3												
	話す・聞く能力																		
	書く能力																		
	読む能力																		
	言語についての知識・理解・技能																		
社会	社会的事象への関心・意欲・態度						4												
	社会的な思考・判断																		
	観察・資料活用 of 技能・表現																		
	社会的事象についての知識・理解																		
算数	算数への関心・意欲・態度						5												
	数学的な考え方																		
	数量や図形についての表現・処理																		
	数量や図形についての知識・理解																		
理科	自然事象への関心・意欲・態度						6												
	科学的な思考																		
	観察・実験の技能・表現																		
生活	生活への関心・意欲・態度						特別活動の記録	内 容	学 年	1	2	3	4	5	6				
	活動や体験についての思考・表現																		
	身近な環境や自分についての気付き																		
音楽	音楽への関心・意欲・態度						学級活動												
	音楽的な感受や表現の工夫																		
	表現の技能																		
	鑑賞の能力																		
図画工作	造形への関心・意欲・態度						児童会活動												
	発想や構想の能力																		
	創造的な技能																		
家庭	家庭生活への関心・意欲・態度						クラブ活動												
	生活を創意工夫する能力																		
	生活の技能																		
	家庭生活についての知識・理解																		
体育	運動や健康・安全への関心・意欲・態度						学校行事												
	運動や健康・安全についての思考・判断																		
	運動の技能																		
	健康・安全についての知識・理解																		
評 定										行 動 の 記 録									
学年	教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	項 目	学 年	1	2	3	4	5	6		
3										基本的な生活習慣									
4										健康・体力の向上									
5										自主・自律									
6										責任感									
										創意工夫									
										思いやり・協力									
										生命尊重・自然愛護									
										勤労・奉仕									
										公正・公平									
										公共心・公德心									
出 欠 の 記 録										備 考									
区分	授業日数	出席停止・ 忌引等の日数	出席しなければ ならない日数	欠席日数	出席日数														
学年																			
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			

児童氏名

総合所見及び指導上参考となる諸事項

第1学年

第4学年

第2学年

第5学年

第3学年

第6学年

(注)「総合所見及び指導上参考となる諸事項」の欄には、以下のような事項などを記録する。

各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見

特別活動に関する事実及び所見

行動に関する所見

児童の特徴・特技，学校内外における奉仕活動，表彰を受けた行為や活動，知能，学力等について標準化された検査の結果など指導上参考となる諸事項

児童の成長の状況にかかわる総合的な所見